

ユニフォーム規程に関する 説明資料



特定非営利活動法人

川崎市サッカー協会

第4種委員会

2017.08

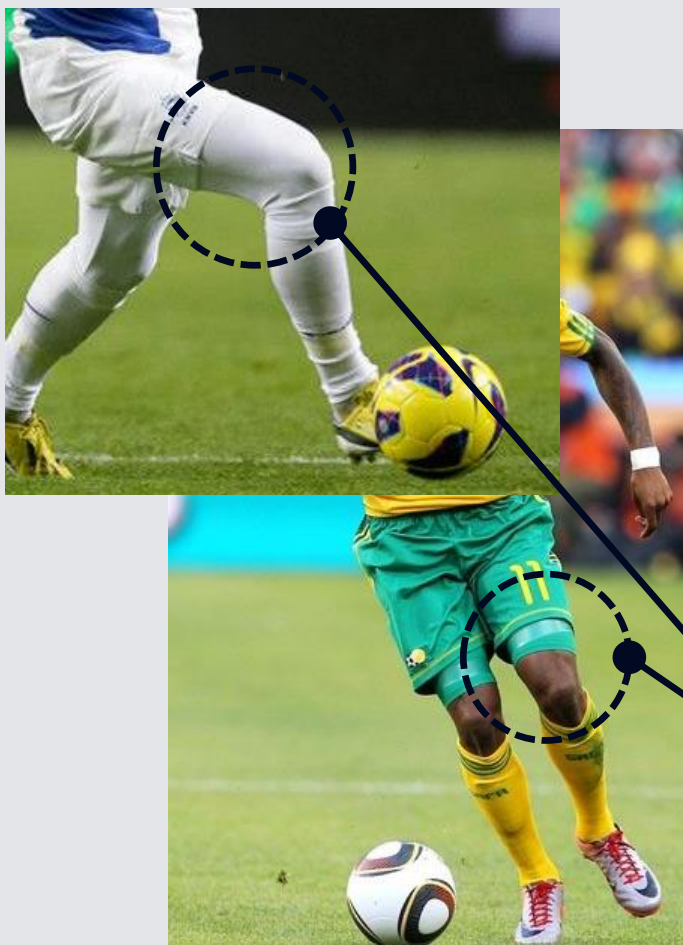
ユニフォーム規定に関する説明

川崎市サッカー協会第4種委員会の見解は以下の通りのため、大会は本内容に従って運営します。

競技規則	ルール(大会要項)	Category			備考(補足説明)
		U-8	U-10	U-12	
第4条 競技者の用具	アンダーショーツおよびタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾と同じ色である事。	全Categoryで競技規則に従った運用とする。			・アンダーショーツを着用する場合、チーム内で色を統一する事。
	アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同じである事。	対象外 ピブスも可	競技規則に従った運用とする。		・アンダーシャツを着用する場合、チーム内で色を統一する事。 (U-8はシャツの袖の主たる色と違う色を着用する場合、全員が着用する事。) ・U-10/U-12は着用する選手、半袖の選手が混在する事は問題無し。
	ヘッドカバーを着用する場合、黒またはシャツの主たる色と同じでなければならない。	全Categoryで競技規則に従った運用とする。			・ヘッドカバーを着用する場合、チーム内で色を統一する事。
JFAユニフォーム規定および県協会ユニフォームの取扱い事項	【FPのケース】 試合会場に正・副2組のユニフォームを持参する事。ユニフォームとは「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せの事である。	対象外 ピブスも可	ユニフォーム規定および大会要項に従った運用とする。		・主たる色が黒のシャツは審判服と類似するため認めない。 ・対戦チームとユニフォームの色彩が類似する場合、事前にチーム同士で話し合いを行い、本部の確認を経た後、主審の判断に従って着用するユニフォームを変更する。 ・ユニフォームを変更する場合、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の色彩が他のFPおよびGKと類似しないよう変更する。 ・正・副2組のユニフォームを持参していなくて着替えることが出来ない場合、不戦敗(0-3、勝点-1)とする。
	【GKのケース】 試合会場に正・副2組のユニフォームを持参する事。ユニフォームとは「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せの事である。	対象外 ピブスも可	ユニフォーム規定および大会要項に従った運用とする。		・主たる色が黒のシャツは審判服と類似するため認めない。 ・対戦チームとユニフォームの色彩が類似する場合、事前にチーム同士で話し合いを行い、本部の確認を経た後、主審の判断に従って着用するユニフォームを変更する。 ・ユニフォームを変更する場合、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の色彩が他のFPおよびGKと類似しないよう変更する。 ・正・副2組のユニフォームを持参していなくて着替えることが出来ない場合、不戦敗(0-3、勝点-1)とする。
	GKの正と副のユニフォームの「ショーツ」「ソックス」を同じ色にする事は認められない。 ユニフォームへの表示として、シャツの前面および背面には選手番号を表示しなければならない。	対象外	ユニフォーム規定および大会要項に従った運用とする。		・JFAのユニフォーム規定に則り、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せにおいて、異なる色彩で正と副のユニフォームを準備する。
	試合前に提出する「メンバー用紙」に記載する場合、「1選手、1選手番号」とする。	川崎市サッカー協会主催の大会は、「メンバー用紙」提出時に「/」で「1選手、2選手番号」を認める。 県協会主催の大会は、県協会およびユニフォーム規定に従った運用とする。	全Categoryで任意とする。		
大会要項(補足)	試合を決定するペナルティマークからのキックの際、FPとGKを交代するケースにおいて、PK戦に限り、FPと識別できるようにシャツのみ着替える事とする。	川崎市サッカー協会主催の大会は、シャツを着替える必要無しとする。			・試合を決定するペナルティマークからのキックの際、FPとGKを交代するケースでは、ユニフォームの交換に時間を要するため。
	FPとGKのユニフォームの組合せとして、FPの正のショーツ、ソックスをGKの副とし、FPの副のショーツ、ソックスをGKの正として組合せる事は認められない。	全Categoryで共通の運用とする。			・相手チームとの色彩を区別するためにユニフォームを入れ替える場合、必ずしもFPとGKが正または副になるとは限らないので、FPとGKのユニフォームの色彩は重複しない事。

ユニフォーム規定に関するFAQ集

確認事項	見解	Category		
		U-8	U-10	U-12
FPのユニフォーム(「シャツ」「ショーツ」「ソックス」)において、廃番等の影響でチーム内で異なるメーカーを着用・混在する事は可能か？	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム内でメーカーが統一されていない場合でも色彩およびデザインを優先して認める。(メーカーのワンポイントの有無等は認める) 	全Category共通の運用とする。		
アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツはメーカーを統一する必要があるか？アンダーシャツの形状は統一する必要があるか？	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーが異なった場合でも色彩が同じであれば問題無い。メーカーによる若干の色彩の違いは許容範囲内である。 ・アンダーシャツの形状は混在しても問題無い。例えば、ネックが丸首・Vネック等が混在しても色彩がチーム内で統一されていれば認められる。 	全Category共通の運用とする。		
FPのユニフォームの主たる色彩は同じであるが、袖の先、襟の色が異なるユニフォームがチーム内で混在する場合、登録は可能か？	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる色彩が同じであってもデザインが異なると判断されるため、混在する事は認められない。 ・同じ色彩、同じデザイン(襟の形状等含む)の場合でメーカーのみ異なるケースは認める。 	全Category共通の運用とする。		
GKが怪我等によって退場となった場合、補充は可能か？その際、「メンバー用紙」でGKを1名だけ登録した場合、他のFPが交代する事は可能か？	<ul style="list-style-type: none"> ・GKの補充は可能である。(8人制競技規則に準ずる) ・「メンバー用紙」でGKを1名として登録した場合でもFPがGKとして出場する事は認められる。ただし、交代して退くGKと同じ色彩のユニフォームを着用する事。(GKが正のユニフォームを着用していた場合、交代するFPも正のGKユニフォームを着用する) 	川崎市サッカー協会主催の大会は、「メンバー用紙」提出時に「/」で「1選手、2選手番号」を認めているため、記載しているチームはこれに従い、FPは交代可能である。記載していないチームは見解通りの運用とする。		
		県協会主催の大会も見解通りの運用とする。		
GKがPKIによって「警告」累積によって退場となった場合、補充は可能か？その際、「メンバー用紙」でGKを1名だけ登録した場合、他のFPが交代する事は可能か？	<ul style="list-style-type: none"> ・GKの補充は可能である。(8人制競技規則に準ずる) ・「メンバー用紙」でGKを1名として登録した場合でもFPがGKとして出場する事は認められる。ただし、交代して退くGKと同じ色彩のユニフォームを着用する事。(GKが正のユニフォームを着用していた場合、交代するFPも正のGKユニフォームを着用する) 	川崎市サッカー協会主催の大会は、「メンバー用紙」提出時に「/」で「1選手、2選手番号」を認めているため、記載しているチームはこれに従い、FPは交代可能である。記載していないチームは見解通りの運用とする。		
		県協会主催の大会も見解通りの運用とする。		
GKのユニフォームに表示する「選手番号」はマジックテープ(取外し可能なタイプ)等を使用する事は可能か？	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に「選手番号」は剥がれない事、側面から手・指が入らない事、「選手番号」の表示面の4辺が確実に固定されている事を前提に認める。 	全Category共通の運用とする。		
GKのユニフォームとして黒色を使用する事は可能か？	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる色が黒のシャツは審判服と類似するため認めない。 ・「ショーツ」および「ソックス」については黒色を認める。 	全Category共通の運用とする。		
対戦チームのユニフォームの色彩で「ソックス」のみ同じ場合でもユニフォーム全てが異なる色彩になるように変更する必要があるか？同様に「ショーツ」だけが異なる場合は？	<ul style="list-style-type: none"> ・対戦チームとユニフォームの色彩が類似する場合、事前にチーム同士で話し合いを行い、本部の確認を経た後、主審の判断に従って着用するユニフォームを変更する。 ・ユニフォームを変更する場合、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の色彩が他のFPおよびGKと類似しないよう変更する。 	可能な限り、見解通りの運用とする。	見解の通りの運用とする。	



左はショーツの裾が白色のためアンダーショーツは白色でも認められる。



競技規則第4条：競技者の用具

3.色

アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、または、ショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。



ショーツの色とアンダーショーツの色と同じ色でないため認められない！

NG

- ◆ 左の場合にはショーツが緑色（裾のピンストライプは関係ない）となっているため、アンダーショーツは緑色を着用。
- ◆ 上の場合にはショーツの主たる色は「赤色」、ショーツの裾の色は「白色」となっている。従って、競技規則に従えばアンダーショーツは「赤色」または「白色」を着用することができる。
- ◆ いずれも同じチーム内では同じ色でなければならない。



競技規則第4条：競技者の用具

3.色

アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。



- ◆ 左上の場合、シャツおよび袖の主たる色が「縞模様」になっているケース。その場合、シャツの主たる色をチームとして統一されていれば問題はなく、写真の場合には「あずき色」を主としてアンダーシャツとしている。
- ◆ 左下の場合、シャツの袖の主たる色は「ネイビー色」となっているため、アンダーシャツも同色としている。袖の先部分の色ではない（ショーツと取扱いは異なる）。
- ◆ シャツの左右の袖の主たる色が異なる場合、いずれかの色と同色のアンダーシャツを着用する。シャツの色のベースとなっている色を採用するのが通例。
- ◆ アンダーシャツを着用した場合、丸首、ネック等の形状は特に規定されているものではない。
- ◆ いずれも同じチーム内では同じ色でなければならない。